



画像提供 岡山県立博物館

た ち むめい いちもんじ さんちょうもう
国宝 太刀 無銘一文字 号山鳥毛
 写真上 刀身 鎌倉時代 刃長: 79.0cm 反り: 3.2cm
 写真下 拵 室町時代 全長: 110.2cm 柄長: 27.8cm

謙信公愛用の太刀 山鳥毛

上杉謙信公、景勝公は、戦国武将の中でも愛刀家として知られ、数々の名刀を所蔵していました。

このうち、「太刀 無銘一文字(号山鳥毛)」は、長尾憲景から贈られたとされる謙信公愛用の刀で、埼玉県立歴史と民俗の博物館が所蔵している短刀と並び、国宝に指定されています。号の由来は刃文が山鳥の羽毛のようであるからとも、また、山野が燃える景色に似ているからとも伝えられています。

刀身は、鎌倉中期に備前国(現在の

これまでの動き

岡山県)の福岡一文字派の手によるもので、造形、伝来ともに備前刀の最高峰と称されています。
 拵は、謙信公が好んだ上杉拵と呼ばれる鏝の無い合口式、鞘は、黒漆塗り、目貫、小柄、筭には、虎のデザインが施され、刀身とともに国宝に指定されています。

現在、太刀は個人が所有し、岡山県立博物館に寄託されています。
 昨年6月に新潟県立歴史博物館から市教育委員会へ、所有者が謙信公ゆかりの地に太刀を譲渡する意向を

謙信公の愛刀を、故郷「上越市」へ

このたび市では、上杉謙信公と景勝公の愛刀である国宝「太刀 無銘一文字(号山鳥毛)」の取得を目指すこととしました。

市民の皆さんに、太刀そのものの由来や、この太刀を謙信公の故郷である上越市が取得する意義などを紹介し、ご理解をいただきながら太刀の取得に向けた取り組みを進めていきます。

持つているとの情報が寄せられました。その後、太刀について調査を進めるとともに、所有者との面談や、春日山の保存整備・謙信公の顕彰活動に取り組む人々から意見を伺ってきましました。あわせて、複数の専門家による価格評価も行い、3億2千万円との評価額が示されています。

教育委員会では、これら事前調査の結果と意見聴取の内容、評価額などを踏まえ、4回にわたる定例会での協議を重ねるとともに、博物館協議会の審議を経た後、去る8月19日の定例会において平成29年度での太刀取得を目指すこととしました。